

No.	日付	対象資料及び項目名	ページ	説明いただきたい事項	備考
1	6月11日	No.1 1.2.11 敷地関連パラメータのモニタリング 1.2.11.2 火山活動のモニタリング等	1.2-244	『敷地周辺のカルデラ火山のモニタリングについて、破局的噴火の可能性が十分小さいことを継続的に確認することを目的に』とあるが、可能性が十分小さいことを観測(モニタリング)によって確認できることについて丁寧な説明を検討すること。	
2	6月11日	No.2 1.3-1 安全目標及びSSCに関する設計規則 1.3.1 一般的安全設計根拠 1.3.1.1 安全目標	1.3-1	『減速材温度係数は、高温出力運転状態では負であり』とあるが、ほう素濃度などの関係を用いて減速材温度係数が負となることについて丁寧な説明を検討すること。	
3	6月11日	No.2 1.3-1 安全目標及びSSCに関する設計規則 1.3.1 一般的安全設計根拠 1.3.1.3 放射線防護及び放射線の許容基準 No.4 1.11.2.8 モニタリング、検査、試験及び保守	1.3-8 1.11-33	トリチウムの測定値や放出管理について説明すること。	
4	6月11日	No.2 1.3.11 国家・国際標準の遵守	1.3-486	国際標準の遵守について説明がない、国家標準のうちJIS、その他民間規格の遵守についてはどのように考えているのか説明すること。	
5	6月11日	No.4 1.11 放射性廃棄物管理	1.11-1以降	廃棄物管理について、実績を含めどのように向上しているのかが判るように説明すること。	
6	6月11日	No.4 1.11.1.2 1次冷却材中の希ガス及びほう素の濃度	1.11-5	1次冷却材中の希ガス及びほう素の濃度については計算結果のみ記載されているが、実績について説明すること。	
7	6月11日	No.4 1.12 放射線防護	1.12-1	放射線防護については実績の記載がなく、その経年変化や国際比較をして対策を検討する内容となっていない点について、説明すること。	
8	6月11日	No.6 1.18 人的要因工学	1.18-1	人的過誤の要因分析をおこなう元ネタについて説明すること。	
9	6月11日	No.6 1.18.6 ヒューマンパフォーマンス監視	1.18-5	ヒューマンパフォーマンス指標及びその目標について、内容がわかるように説明すること。	
10	6月11日	No.6 2.2.1.5 放射線管理(4)放射線管理に係る実績指標	2.2.1-202以降	第21回から第24回の定期検査時の被ばく線量について、検査期間が短いだけでなく、線量が低くなる要因分析について説明すること。	
11	6月11日	No.6 第2.2.1.5-1表 定期検査期間中の被ばく線量状況	2.2.1-210	5mSvを超え15mSv以下で社員以外の人数が大半を占めていることについて説明すること。	
12	6月11日	No.6 第2.2.1.5-3図 定期検査期間中の作業被ばく線量の推移	2.2.1-213	第20回以前のデータも説明してください。また通常定期検査作業分が減少している傾向について、要因含めて説明を検討すること。	